

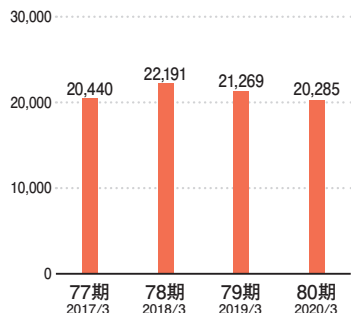
「人・食・味を豊に」





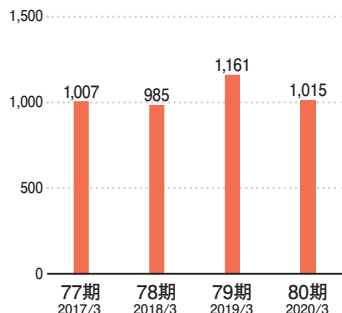
売上高

(単位:百万円)



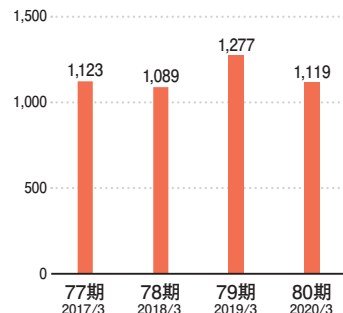
営業利益

(単位:百万円)



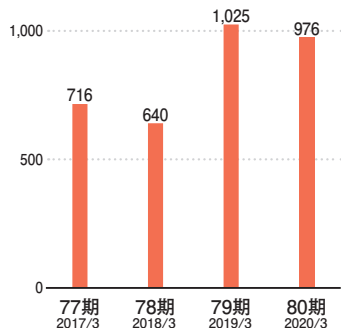
経常利益

(単位:百万円)



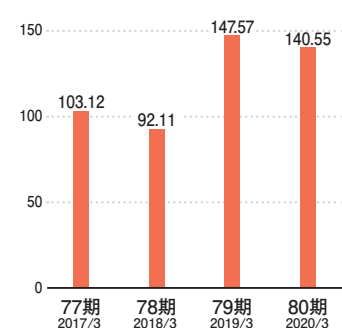
当期純利益

(単位:百万円)



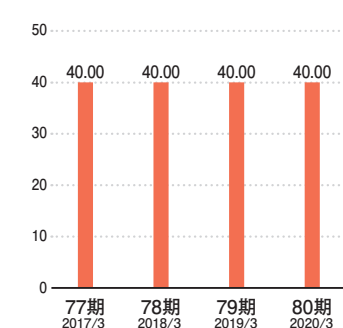
1株当たり当期純利益

(単位:円)



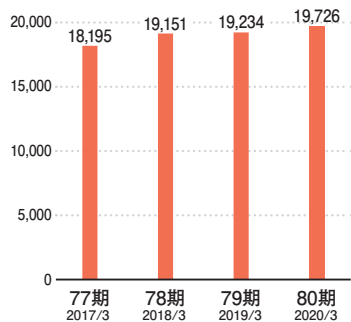
1株当たり配当金

(単位:円)



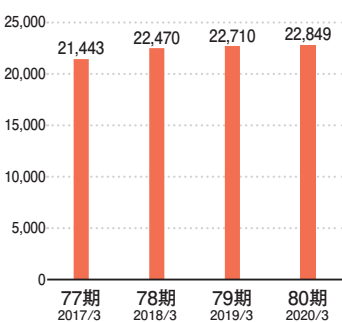
純資産

(単位:百万円)



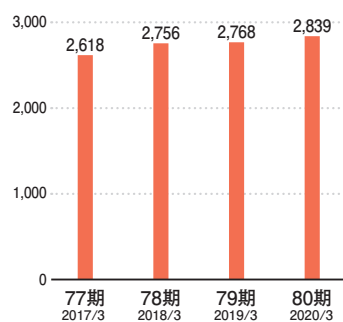
総資産

(単位:百万円)



1株当たり純資産

(単位:円)





ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第80期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長 橋本 淳

当事業年度の概況

当事業年度におけるわが国経済は、上半期までは緩やかに企業収益や雇用環境の改善が続いておりましたが、10月以降は国内的には消費税の増税や大型台風の影響、国内外での新型コロナウイルス感染症の発生に伴う経済活動の停滞、また、原油価格の急激な変動や地政学的なリスクの再認識など世界経済の下振れリスクが多数存在し、先行きは依然として不透明な状況となっております。

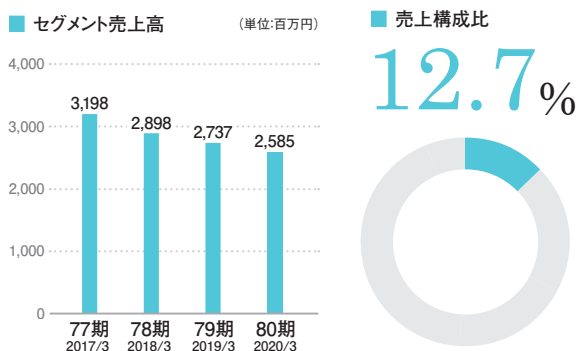
食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、原材料価格の上昇、労働環境の変化等が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当社は取引先のニーズを追求した提案型営業の強化とともに、粉粒体食品部門においては、集中生産による業務効率の向上を目的として鳥取工場にて新工場を7月から稼働を開始し、チルド食品部門・液体調味食品部門においては、既存設備の活用を重点に合理化・省力化の推進を図り、経営効率の向上と利益目標の達成に取り組んでまいりました。

なお、当事業年度において鳥取工場の新工場に対する県からの補助金355百万円を特別利益に計上しております。以上の結果、当事業年度の経営成績は、売上高は20,285百万円と前年同期と比べ984百万円(4.6%)の減収となり、営業利益は1,015百万円と前年同期と比べ146百万円(12.6%)、経常利益は1,119百万円と前年同期と比べ158百万円(12.4%)、当期純利益は976百万円と前年同期と比べ48百万円(4.8%)の減益となりました。

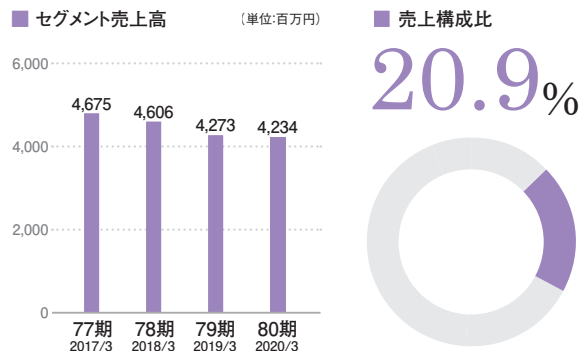
チルド食品部門

チルド食品部門は、受託が低調に推移し、売上高は2,585百万円と前年同期と比べ151百万円(5.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は粗利率の改善に注力した結果、330百万円と前年同期と比べ42百万円(14.8%)の増益となりました。



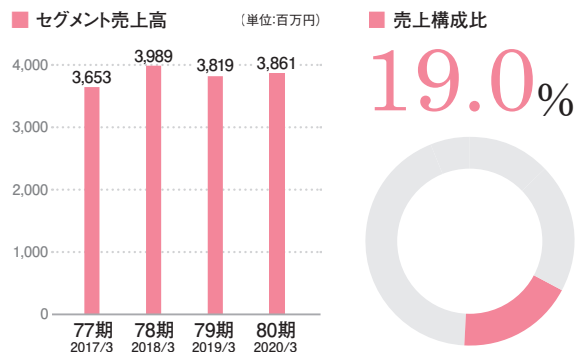
粉粒体食品部門

粉粒体食品部門は、顆粒製品の受託が伸び悩み、売上高は4,234百万円と前年同期と比べ38百万円(0.9%)の減収となり、7月より鳥取工場にて新工場の稼働に伴う償却費及び諸経費の増加により、セグメント損失(営業損失)は7百万円(前年同期は56百万円のセグメント利益)となりました。



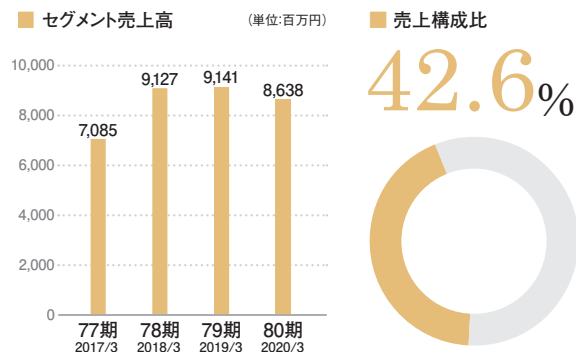
液体調味食品部門

液体調味食品部門は、加工醤油の売上が不調となりましたが、調味液が前年を若干上回り、売上高は3,861百万円と前年同期と比べ42百万円(1.1%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は291百万円と前年同期と比べ6百万円(2.3%)の減益となりました。



即席麺部門

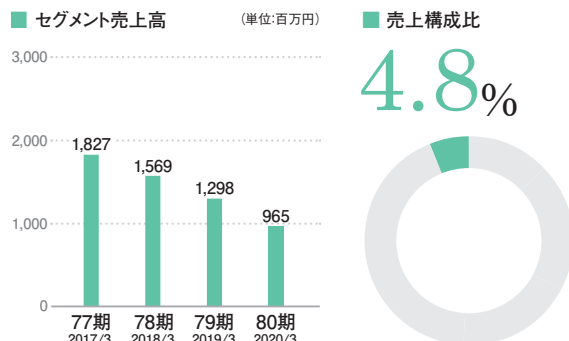
即席麺部門は、カップ麺の受託が減少し、売上高は8,638百万円と前年同期と比べ503百万円(5.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は393百万円と前年同期と比べ101百万円(20.5%)の減益となりました。



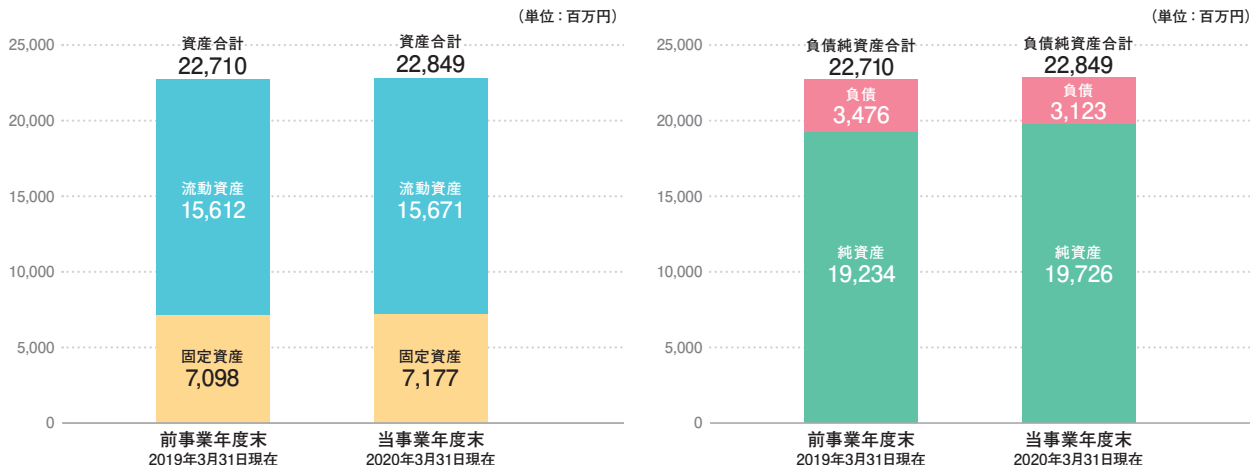
その他部門



その他は、水産物の取扱量が減少したことに伴い、売上高は965百万円と前年同期と比べ332百万円(25.6%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は7百万円と前年同期と比べ15百万円(68.3%)の減益となりました。



貸借対照表の概要



財政状態について

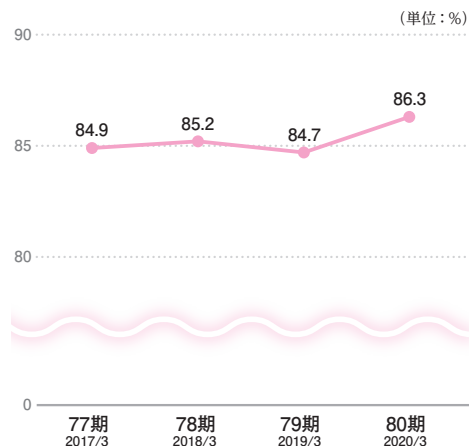
当事業年度末における資産の部は22,849百万円となり、前事業年度末と比べ139百万円増加しました。これは主に、流動資産においてその他が118百万円、売掛金が111百万円増加し、現金及び預金が173百万円減少し、また、固定資産において建物が549百万円、機械及び装置が320百万円、繰延税金資産が133百万円増加し、建設仮勘定が657百万円、投資有価証券が296百万円減少したことによるものであります。

負債の部は3,123百万円となり、前事業年度末と比べ352百万円減少しました。これは主に、流動負債において買掛金が102百万円増加し、未払金が306百万円、未払消費税等が132百万円減少したことによるものであります。

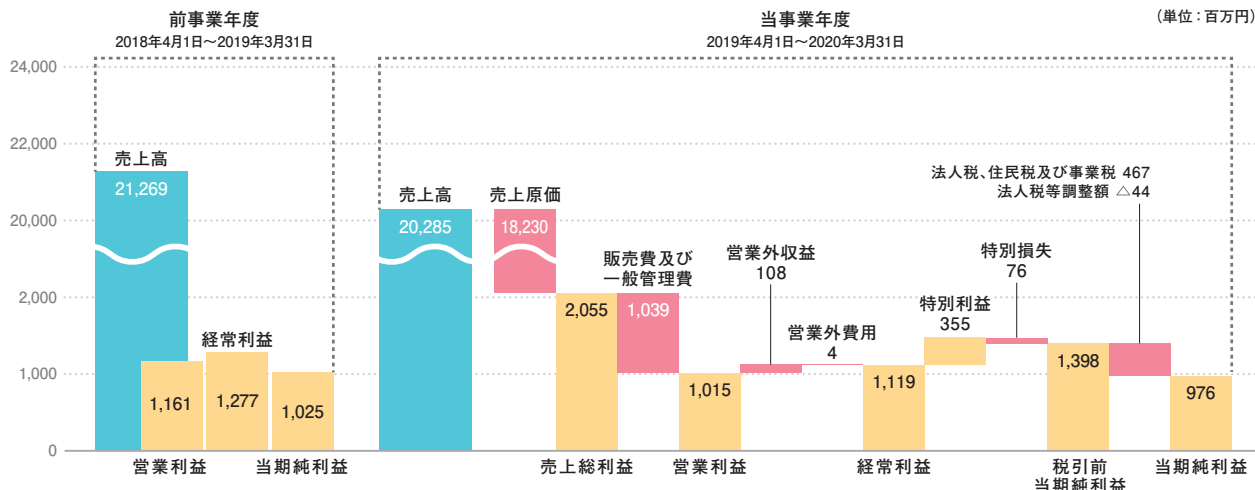
純資産の部は19,726百万円となり、前事業年度末と比べ491百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が698百万円増加し、その他有価証券評価差額金が206百万円減少したことによるものであります。

この結果、当事業年度末の自己資本比率は86.3%(前事業年度末は84.7%)、1株当たり純資産は2,839円01銭(前事業年度末は2,768円21銭)となりました。

■自己資本比率の推移



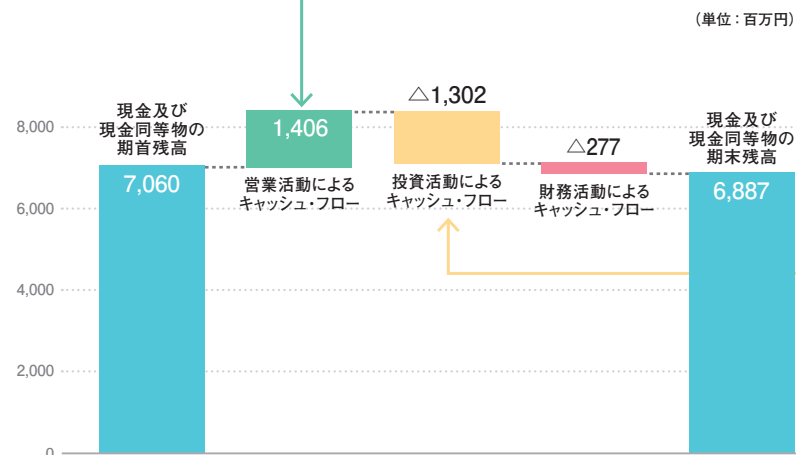
損益計算書の概要



キャッシュ・フロー計算書の概要

当事業年度

2019年4月1日～2020年3月31日



営業活動によるキャッシュ・フロー

当事業年度において営業活動により得られた資金は1,406百万円となり、前年同期と比べ331百万円(19.1%)の減少となりました。主な要因は、税引前当期純利益1,398百万円及び減価償却費666百万円による資金の増加と未払消費税等の減少額252百万円による資金の減少であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は1,302百万円となり、前年同期と比べ1,054百万円(425.4%)の増加となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1,290百万円であります。

“おすすめ”レシピ!!

当社製品「だし取り職人」「白だし」を使った



～ かんたんレシピ ～



ひんやりネバネバ♪ 長芋とオクラの和風冷製パスタ

●1人前/約488kcal

使用した
商品



【材料(2人前)】

オクラ	5本
トマト(中)	1/2個
長芋	100g
乾燥パスタ(冷製用)	200g
淡口醤油	大さじ1
酢	小さじ1
水	250cc
刻み海苔	適量
だし取り職人かつおだし	1袋

- 1 長芋はすりおろしておく。オクラは塩で板ずりをし、熱湯で茹でて、小口切りにする。トマトは1.5cm程度の角切りにカットしておく。

- 2 250ccの水にだし取り職人かつおだしを1袋いれて、沸騰したら2分間煮だし、だしパックを取り出す。煮出しただし100ccに淡口醤油と酢を合わせて冷やしておく。

- 3 たっぶりのお湯に塩を入れてパスタを茹でる。茹で上がったなら氷水で冷やし、水気をよくきっておく。皿にパスタを盛り付け、②のたれをかけて①の具材とトッピングとして刻み海苔のをのせたら完成です。

さやえんどうだけで作れる♪ 白だし豆ご飯

●1人前/約288kcal

使用した
商品



【材料(4人前)】

白米	2合
えんどう豆	50g程度
みりん	大さじ1
白だし	大さじ2

- 1 えんどう豆の中身を出し、軽く洗います。

- 2 「白だし」大さじ2、みりん大さじ1、えんどう豆を入れて目盛にあうように水を足し、炊き込みます。

- 3 炊きあがったらよく混ぜて出来上がりです。

ユタカフーズオンラインショップアドレス ▶ <https://yutakafoods.co.jp/shop/>

■ 当社の概要

創 立	1944年10月21日
資本金	1,160百万円
本 社	〒470 - 2395 愛知県知多郡武豊町字川脇34番地の1
電 話	0569 - 72 - 1231 (代表)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市販用及び業務用の液体調味食品及び粉粒体食品等の製造販売 ・ マルちゃん製品の液体調味食品、粉粒体食品、チルド食品及び即席麺等の受託製造

<https://www.yutakafoods.co.jp>

ユタカフーズ 検索

■ 役 員

代表取締役会長	楠 学
代表取締役社長	橋本 淳
取 締 役	牧 清忠
取 締 役	大茂 為継
取 締 役	中村 好伸
常勤監査役	奥田 裕治
監 査 役	津田 明人
監 査 役	石川 吏志

(2020年6月24日現在)

■ 事業所・工場



鳥取営業所／鳥取工場 ●



● 東京営業所

本 社
本 社 工 場



■株式の状況

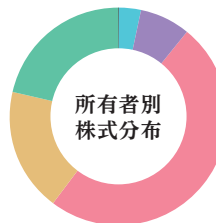
発行可能株式総数	35,000,000株
発行済株式の総数(自己株式1,883,966株を除く)	6,948,345株
株主数	2,477名
単元株式数	100株

■大株主

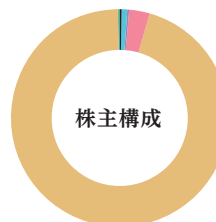
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東洋水産株式会社	3,533	50.85
MSIP CLIENT SECURITIES	230	3.31
株式会社榎本武平商店	210	3.02
ユタカフーズ従業員持株会	206	2.97
株式会社三菱UFJ銀行	101	1.46
株式会社三井住友銀行	101	1.45
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	93	1.33
株式会社愛知銀行	85	1.22
大樹生命保険株式会社	80	1.15
焼津水産化学工業株式会社	76	1.09

(注)持株比率は自己株式(1,883,966株)を控除して計算しております。

■株式の分布



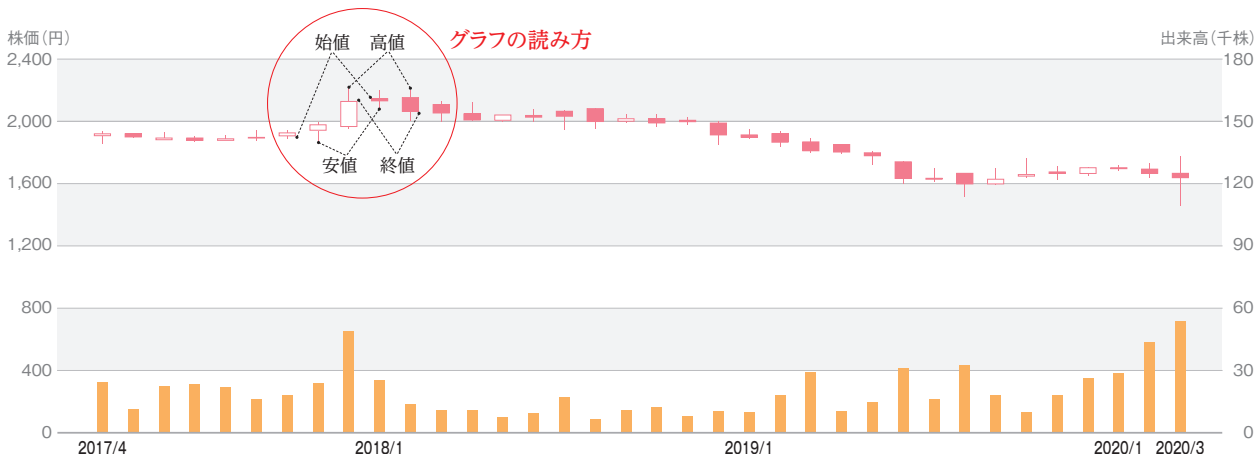
● 証券会社	3千株	0.04%
● 外国人	298千株	3.38%
● 金融機関	661千株	7.49%
● その他国内法人	4,376千株	49.55%
● 個人その他	1,608千株	18.21%
● 自己名義株式	1,883千株	21.33%



● 証券会社	12名	0.48%
● 外国人	19名	0.77%
● 金融機関	10名	0.40%
● その他国内法人	70名	2.83%
● 個人その他	2,365名	95.48%
● 自己名義株式	1名	0.04%



■株価・出来高の推移



■ 株主優待のご案内

毎年3月末日現在の株主名簿に記載された100株以上所有の株主様へ、株主優待として自社製品を贈呈しております。

100株以上500株未満所有の株主様

800円相当の自社製品

500株以上1,000株未満所有の株主様

1,500円相当の自社製品

1,000株以上3,000株未満所有の株主様

2,500円相当の自社製品

3,000株以上所有の株主様

4,000円相当の自社製品



株主優待品例

■ 株式に関するお手続き等について

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	口座を開設した証券会社に お問い合わせください。	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話：0120-782-031（フリーダイヤル）
単元未満株式の買取請求 その他お手続きに関する事項		
未払い配当金	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話：0120-782-031（フリーダイヤル）	

■ 株式に関するお知らせ

※ 単元未満株式の買取について

単元未満株式（100株に満たない株式）の買取を請求することができます。

当社では単元未満株式を買い取らせていただく「買取制度」をご利用いただけます。



※ 配当金計算書について

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払の都度「配当金計算書」を同封させていただきます。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
[基準日] 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先（電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。

